

# いーぶんネットワーク

一宮市内で活躍する女性団体を紹介します。  
第4回は「神山れんげの会」です。



神山れんげの会は、神山連区女性の会の前身である神山連区婦人会の有志が集まりボランティアグループとして立ち上がった会で、今年設立から20年が経過しました。会の名前は、「れんげは枯れても肥料になる。地味に足元のことをして行こう」という思いからつけられました。会員は、最初22名から始まり、現在は51名。年齢は60代、70代の方が多く、80代の方もいます。

主な活動は、特別養護老人ホームでの毎月1回のシーツ交換です。70から100床のシーツを交換するのは重労働で、冬でもとても汗をかきます。入所されている方に声をかけながら作業をすると、覚えていてもらえて、握手を求められたりすることもあります。「しんどい、えらい」と言いながらも、気心が知れている仲間との活動は楽しみで、チームワークでこなしています。

他には、福祉とボランティア活動展、神山連区敬老会の手伝いをはじめ、七夕飾り作りなどさまざまな社会福祉活動をしています。

設立当初、私たちのしていることは、ちょっとしたことでしかないけれどいいのかと、悩みました。その時、当時の連区長が「一隅（いちぐう）を照らすもの、皆、是国の宝なり」という言葉を引用して、「小さな、誰も見ていないことでも、みなさんのしていることは素晴らしいことです。」と言われました。気持ちが楽になり、今でもこの言葉が会の基本となっています。

会のモットーは「無理をせず やれる人がやれるときにやる」です。神山連区に住んでいない方も会員になっています。また、現在男性の会員はいませんが、一緒に活動したい方がいれば歓迎します。今回の記事を読んで、どなたでも来てもらえたら嬉しいです。気楽にご参加ください。



活動に興味をお持ちの方はお問い合わせください。  
電話・FAX 0586-45-6026  
(神山れんげの会代表 川田)

## 男女共同参画推進セミナーを開催します

受講料も託児も無料!



### ●共働き夫婦を応援! スーパー主婦が教えるゴキゲン家事生活●

家事ジャーナリストの山田亮さんをお招きし、「楽に家事をする方法」、「夫婦で家事を共有するコツ」をお聞きます。

日時:平成26年11月22日(土) 午後2時から3時30分  
会場:一宮市民会館 大会議室 対象:市内在住・在勤の方  
定員:90名(先着) 託児:5名(1歳半~就学前児童, 抽選)  
申込期限:11月19日(水) 託児の申込期限は11月14日(金)  
※お申込みは企画政策課まで。(連絡先は下記をご参照ください。)

『いーぶん』は『男女共同参画』に関する様々な情報や話題を皆さんに提供する情報紙です。  
『いーぶん』という名称には、男女の平等『EVEN』とみんなの『言い分』という意味が込められています。

編集協力者/岡西 美子、横井 秀子、吉田 和江、伊藤 孝司、岩田 宏美 編集・イラスト協力者/後藤 明美  
編集・発行/一宮市企画部企画政策課  
〒491-8501 一宮市本町2-5-6 TEL 0586-28-8952 FAX 0586-73-9128  
eメール kikakuseisaku@city.ichinomiya.lg.jp ホームページ http://www.city.ichinomiya.aichi.jp/  
\*企画政策課のホームページでは、『いーぶん』のバックナンバーがご覧いただけます。  
\*『いーぶん』は市内公共施設で配布しています。配布場所については企画政策課にお問い合わせください。

# いちのみやし男女共同参画情報紙

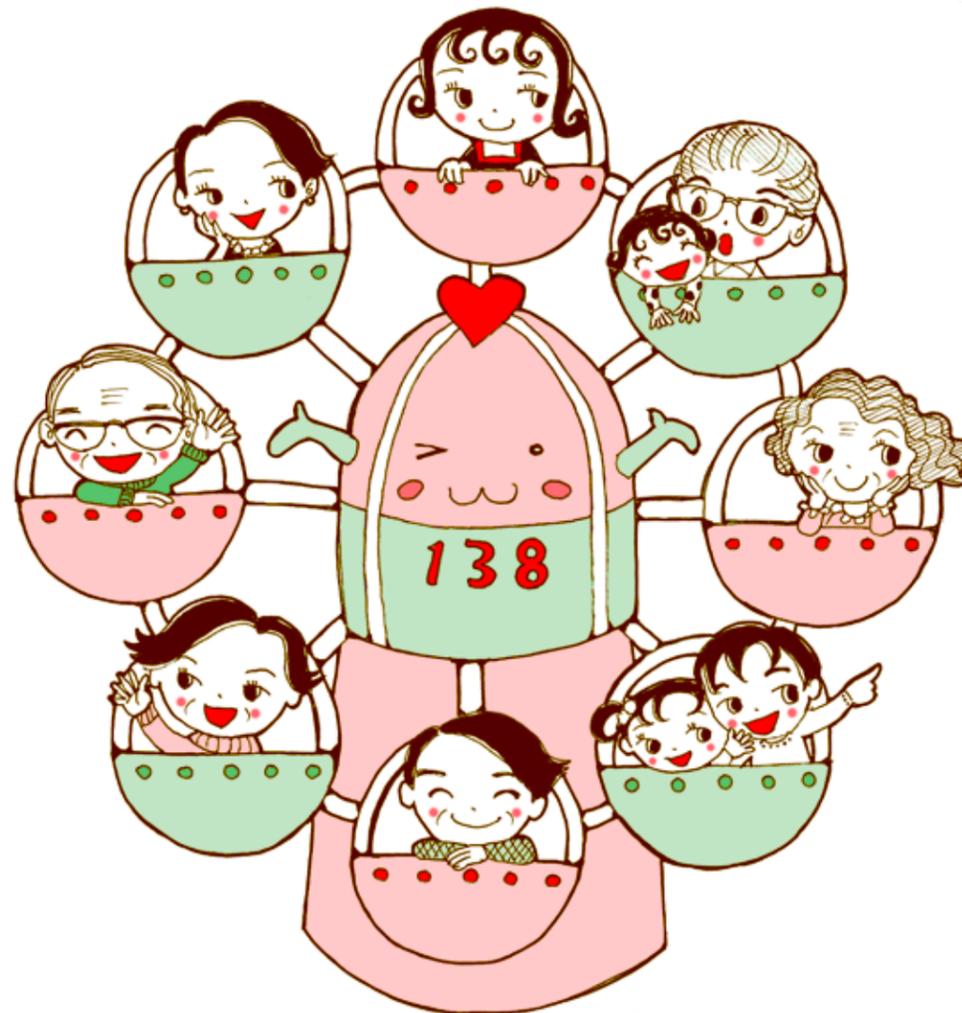
# いーぶん

● 素敵なパートナーになるために ●

第32号

平成26(2014)年11月

## 特集 男女共同参画ってどういうこと?



市では、市民の皆さんの男女共同参画に関する意識や実態を知り、今後の施策に活かすため、平成25年6月に「男女共同参画意識に関するアンケート調査」を実施しました。

今回の特集では、その調査の自由意見欄に寄せられた皆様のご意見、疑問に注目しました。男女共同参画ってどういうこと?なんで必要なの?男女共同参画に関する疑問について、一緒に考えてみましょう。



## そもそも「男女共同参画社会」って…なに？

男女共同参画社会は、「男だから、女だから」というような、性別で役割を固定的に決めつける意識を見直し、男性も女性もその人の個性と能力を十分に発揮し、喜びも責任も分かち合う社会です。

\*「参画」とは、ただ「参加をする」ということではなく、「計画の段階から参加する」という意味です。



## なんで必要なの？

少子高齢化の進行や経済環境の変化、生活スタイルと価値観の多様化など、私たちの社会は、今、大きく変化しています。

こういった社会の変化に対応しながら、個人の生活水準や社会の活力を保ち続けるためには、男性、女性とも生き方や選択を狭められることなく、家庭や地域、学校や職場、政治の世界など社会の色々な場面に参画していくことが必要です。

## 男女共同参画って男性にも関係あるの？

男女共同参画は、男性にも大いに関係があります。例えばこんなことはないですか？

- ・育児休業を取りたいと思っても、上司や同僚の理解や協力が得られず取れない。
- ・残業が多く、家族とコミュニケーションが取りづらい。

「男は仕事」という性別による役割の意識は、時代とともに変わりつつありますが、依然として根深く残っており、それが個人や社会にとって重くのしかかっていることがあります。

男性も仕事以外の自分の生活を大切に、仕事、家庭、趣味の時間など、バランスの取れた豊かな生活を送ることが重要です。



## 「男の子は男らしく、女の子は女らしく」でいいと思うけど？

「女の子は優しく、男の子なんだから強く」など性別により区別する言動を大人がしていることで、子どもたちにも「男らしく、女らしく」という意識が、刷り込まれていきます。

男性と女性は体のつくりが違うため必要な区別はありますが、性別で区別する必要のないこともたくさんあります。そういった「性別による決め付け」のために子どもたちが、窮屈な思いをしたり、進学や就職のときに希望する道を諦めたりするのは残念なことです。

男女の区別なく、一人ひとりの個性や能力にふさわしい、「その子らしい」生き方を選ぶことができるよう、大人が男女共同参画の視点を理解し、子どもたちに接することが大切です。

## 働く女性が増えらるともっと少子化が進むんじゃない？

少子化には、経済的な理由、晩婚化や価値観の変化などの要因もあり、女性が働くから少子化が進むのではありません。

世界の国では、1970年頃は働く女性が少ないほど、出生率が高かったのですが、2000年には、経済の発達した国では働く女性が多いほど、出生率が高くなっています。これは、女性が出産後も働き続けられるように出産や子育ての環境など、社会の仕組みを変えてきたからです。

日本でも、男性、女性ともに働く人が、その人のおかれた環境に応じて多様な働き方ができるように環境を整えていくことが大切です。



## 男女共同参画ってどういうこと？



いかがでしたか？  
「男女共同参画社会」は、みなさんに関係がある、大変身近なことです。男性も、女性も、もっと楽しく、もっと自分らしく生きられる社会を目指していきましょう。